

うじたわら

議会だより

No. 127

2026.5.1



「礎を力に。未来へ歩み出す共創予算」
令和8年度当初予算可決
3月定例会

P2 ~ P9

町政を問う（一般質問）
中学生議会アンケート
インタビュー（学校給食共同調理場のみなさん）

P10~P15
P16~P17
P19

＝宇治田原小学校卒業式＝
あてやかな晴れ姿で、
春の風に乗って新たな挑戦へ。

第一回
定例会

礎を力に。未来へ歩み出す共創予算

令和8年度当初予算を含む全案 可決

令和8年第1回定例会を3月3日から26日まで開催した。

予算関係11件(当初6件、補正4件、専決1件) 条例関係14件(制定2件、

改正12件) 人事関係1件について提案があり、原案通り可決・同意・承認した。

一般質問は10人の議員が、活発な議論を展開した。

やすらぎのまちづくり

- 地域防災対策事業費 817万円
- 成人歯周病検診事業費 75万円
- 拡大新生児スクリーニング検査費用助成事業費 30万円



つながりのまちづくり

- 宇治田原山手線関連事業費(工業団地線) 2,121万円
- バス運転士確保・応援事業費 114万円
- 水道事業会計負担金(水道料金減免事業) 6,560万円



町は、扶助費の増加をはじめ、新庁舎建設事業の完了や宇治田原山手線整備等の大型事業の進捗に伴い、地方債残高の増加に加え、今後も公債費が大きく増加する見込みであるなど、非常に厳しい財政状況にある。

令和8年度は、町制施行70周年を迎える

節目の年として、「礎を力に。未来へ歩み出す共創予算」と題し、未来へつなぐ大切な一歩を踏み出す事業とともに、物価対策に対する支援の取り組みを行う。

令和8年度当初予算案含む全案を審査し、全案を可決した。

にぎわいのまちづくり

- ふるさと納税推進事業費 1億2,500万円
- 「ハートのまち」移住定住プロモーション事業費 439万円
- まちを元気にするプレミアム商品券発行事業費補助金 2,380万円



※写真はイメージです。

ハートのまちづくり

- 乳児等通園支援事業費(こども誰でも通園制度) 551万円
- 小中学校給食費支援事業費 2,411万円
- 体育施設集約化事業費 1億6,443万円



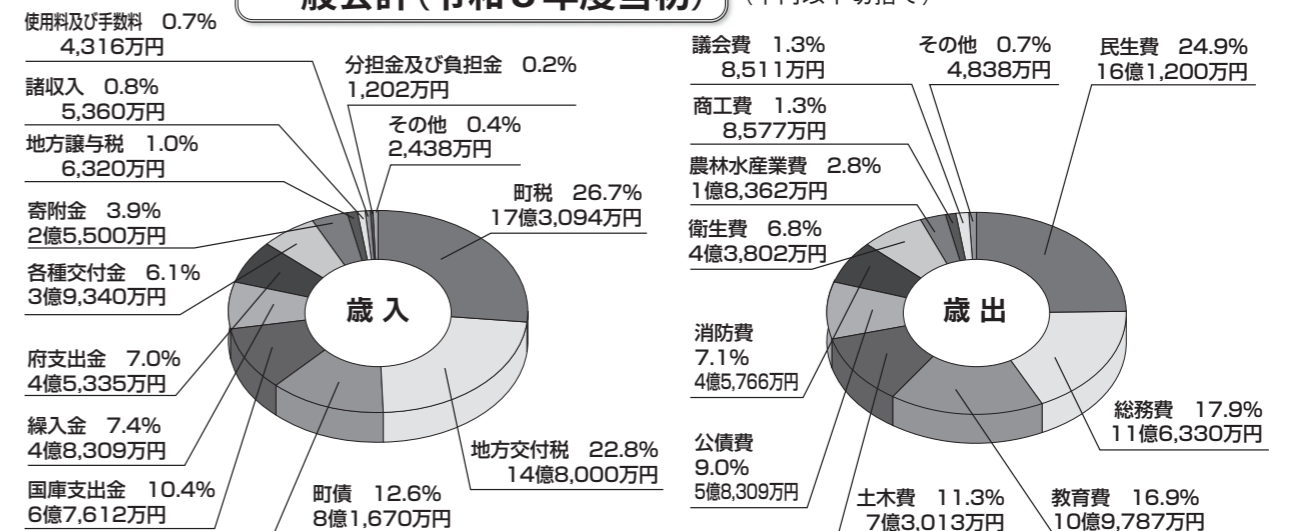
会計別の令和8年度当初予算

(千円以下切捨て)

| 会計名 | 予算額 | 前年比(%) |
|-------------|-------------|--------|
| 一般会計 | 64億8,500万円 | 14.0 |
| 国民健康保険特別会計 | 9億8,049万円 | △2.4 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 1億9,574万円 | 5.5 |
| 介護保険特別会計 | 8億8,305万円 | 0.3 |
| 水道事業会計 | 5億7,892万円 | 3.0 |
| 下水道事業会計 | 9億6,923万円 | 4.9 |
| 総額 | 100億9,245万円 | 9.2 |

一般会計(令和8年度当初)

(千円以下切捨て)



*端数整理上、合計額と一致しません。

予算特別委員会

予算特別委員会は、3月9日に令和7年度補正予算を審査し、3月16日、17日、18日、23日の日程で、令和8年度当初予算を審査した。18日には2カ所の現地審査を行った。主な質疑は下記の通り。

当初予算

ここが聞きたい（総括質疑）

住民への負担増、少子化対策についての考えは（今西利行議員）

問 来年度、国保税はすべての世帯で大幅増となるとともに、後期高齢者医療保険料も引き上げとなる。円安や原材料価格の高騰、物流費やエネルギーコストの増加、中東情勢の影響でガソリン代の高騰も非常に厳しいものがあるが、これら負担増に関する考えは。

答 国民健康保険、後期高齢者医療等の社会保険料は、被保険者の高齢化や医療の高度化等による保険給付費支出の増加と対になっており、保険料・保険税は、基金を活用して負担軽減を図っている。令和8年度当初予算では、物価高騰の影響を受けている住民や事業者の方々に対して、国の「重点支援地方交付金」を最大限活用し、水道料金の減免や学校給食費の補助を実施する等、日々の暮らしの負担軽減に向けた各種施策の予算を計上しており、しっかりと対応を図っていききたい。

問 人口減少は全国的な課題であり、特に子どもの減少は深刻である。本町の本年度の出生数は30人、合計特殊出生率も低下傾向である。このまま子どもの数が減るのを、指をくわえてみているわけにはいかない。来年度、少子化対策については、どのように考えているのか。

答 少子化の現状については、極めて深刻な課題であるが、国が直面する最大の危機であり、もっとも優先すべき喫緊の課題である。次年度、小中学校給食費支援事業に取り組むが、経済的支援のみにとどまらず、子ども家庭センターを核とした妊産婦の心身のケアや切れ目ない相談体制の強

化など、小さい町のスケールメリットを活かした伴走型の子育て支援を進めたい。また、各課連携し、多様な子育て支援施策を推進し、この町で子どもを産み育てたい、この町で心豊かに成長し、ふるさとに誇りと愛着をもって住み続けたいと、次の世代にも思い続けていただける持続可能なまちづくりの実現に向け、地域の力もお借りしながら、職員が力を合わせ、知恵を絞り、着実に進めたい。

もっと聞きたい（個別審査）

一般会計予算（議案第5号）

若者支援枠の内容は

問 地域活性化助成金の若者支援枠の内容は。

答 既存の地域活性化助成金に新たに若者応援支援枠を設け、高校世代から30歳未満の若者中心の活動団体の取り組みに対し、10万円を上限に10分の10を助成することで、若者のまちづくりの活動を支援して、地域活性化につなげたい。

急に預けられる子どもへの対応は

問 こども誰でも通園制度について、慣れない場所で初めて会う保育士に預けられる子どもの負担についてどのように対応するのか。

答 乳幼児期の子どもは様々な人や物、環境と初めての出会いを繰り返しながら育っていく。通園することで得られる経験や同年代の子どもや家族以外の大人と過ごすことは、新たな成長にもつながると考える。

バスの運転士不足の対策は

問 バス運転士が減っている状況と、成り手がない状況をどのようにとらえているのか。

答 鉄道がない本町にとって、町内外をつなぐ大量輸送可能な公共交通は路線バスのみであり、バスの路線の維持、運転士の確保は重要度が高い。補助制度を創設することで、運転士不足の状況を少しでも変えたいと考えている。

緑茶乾杯条例の制定を

問 緑茶乾杯条例を町制施行70周年記念式典の9月30日までに制定できないか。

答 茶業関係者との協議等を含め、できる限り早期に実施していききたい。

小中一貫教育の今後の取り組み方は

問 小中一貫教育については、様々な意見があり住民の関心が高いと考えるが、どのように取り組んで行くのか。

答 子どもにとってどのような環境が最も望ましいかといったことを一番に考え、スピード感を持って取り組んでいく。



予算特別委員会

公共施設の集約・改修の工期、財源、周知は

問 総合文化センター改修事業費及び体育施設集約化事業費について、工期及び住民への周知方法、財源はどのように考えているのか。

答 総合文化センター改修事業は1年半程度、体育施設集約化事業は9か月程度の工期を見込んでおり、施設にお知らせを掲示するほか、町広報紙、HPを活用して周知を図る。財源については、緊急防災・減災事業債や交付税措置のある有利な起債を活用する。



現地審査（住民体育館）

反対討論

住民要求に沿った施策に予算配分を 今西利行議員

保育料軽減、高校通学バス代全額補助、奨学金の返済支援、中学校給食無償化などの支援で、少子化に歯止めをかけるべき。茶葉の不足や高騰で危機的な状況である茶業界の実態を調査し、町ができる対策を講じるとともに府や国に対策を求めよ。小中学校施設一体型計画は、いったん白紙に戻し、住民合意を基本に進めるよう求める。各区での懇談会の実施、様々な住民団体との懇談等、住民の声を聞いた上で、住民要求に沿った施策に予算を配分すべきである。

賛成討論

厳しい財源の中、未来を諦めない予算 田中大典議員

厳しい財政状況の中、今の暮らしを守り、持続可能な宇治田原のための予算であると考えている。水道基本料の全額減免、学校給食の支援など家計を支える。町内唯一のバス路線維持に向け、運転士離職防止と長期的な定着を促進する費用を助成することは、バス路線が生命線であるという強い決意である。若者主体の「未来トーク」など、未来への投資も評価する。未来を諦めないこの姿勢を強く支持し、賛成する。

後期高齢者医療特別会計予算（議案第7号）

資格確認書は全員に送付すべきでは

問 来年度もマイナ保険証の所持の有無に関わらず全員資格確認書を送付すべきでは。

答 後期高齢者の全員に資格確認書を送付する経過措置については7月末で終了し、以降、国からは85歳以上の方について送付する旨の通知が来ている。

反対討論

制度には反対である

山本精議員

今回の予算は、子ども・子育て支援金を上乗せして徴収するもの、物価高騰、年金削減と合わせ、高齢者の生活と健康を脅かしている。もともと制度には反対の立場である。

介護保険特別会計予算（議案第8号）

介護サービスは需要に応えられているか

問 ショートステイ、デイサービス、訪問介護、訪問看護等の介護サービスについて、需要に応えられているのか。

答 希望に添えていないということはない。

介護保険条例の一部改正（議案第16号）

介護保険法施行令の一部改正されたことに伴う改正

所得控除引き上げの効果がなくなることはないのか

問 介護保険法施行令の改正により、所得控除引き上げの効果がなくなる対象者に対し町独自で減免を行うということか。

答 その通りである。ただ、改正が令和8年度に限っているため、町独自の減免についても令和8年度に限ったものとしている。

国民健康保険税条例の一部改正（議案第17号）

新たな課税項目の新設及び従来分課税項目の改正

子育てに係る予算は国が責任を持つべきでは

問 来年度から「子ども・子育て支援金」が保険税に上乗せされるが、子育てに係る予算は国が責任を持つべきであり、国民から強制的に徴収すべきでないことを国に言うべきでは。

答 子ども子育て支援法等に基づき決定された手法、金額であるため、適切に課税すべきであると考えている。

反対討論

財源を社会保険に求めるべきではない
山本精議員

今回の改正は子ども・子育て支援金を従来の国保税に上乗せして徴収するもの、少子化対策は社会全体で取り組むべき重要な課題であり、子ども・子育てへの支援の充実は不可欠であると考え、その財源を国保など社会保険に求めるべきではない。

令和7年度補正予算一般会計
(議案第5号)

歳入予算の補正の理由は

普通交付税を1億2,535万6千円追加補正、財政調整基金繰入金金は1億2,000万円減額補正することについて、それぞれの理由は。

普通交付税については、給与改定や臨時経済対策費等の再算定が行われ、基準財政需要額が伸びたことにより普通交付税の額が増額された。また、財政調整基金の繰入金については、決算見込みに伴う歳出の減及びこの普通交付税の増額等により、当初計上額よりも少ない繰入になる見込みになったためである。

令和7年度国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算
(第2号)

特別調整交付金の増額とは

保険給付費等交付金について、減額補正の理由として医療費見込の精査は理解できるが、特別調整交付金の増額とはどのようなものか。

保険給付費等交付金には、普通交付金と特別交付金があり、普通交付金は保険給付費に対して、全て京都府から賄われるため10対10の関係であり、歳出の保険給付費の減額とともに1,500万円の減額となる一方、特別調整交付金は特定健康診査の受診率の向上やジェネリック医薬品の周知等の医療費の削減に対し努力分として特別に交付されるものである。これら普通交付金の減額分から特別交付金の増額分を差し引いた結果として1,463万9千円の減額補正になる。

令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算
(第1号)

反対討論

高齢者に負担を強いる制度
今西利行議員

後期高齢者医療制度は、窓口負担の引き上げ、保険料の大幅値上げなど、高齢者に負担を強いるものとなっている。特に、窓口負担が2割になり、受診控えが起きている。高齢者の生活と健康を脅かしており、制度に反対である。

人事案件

○人権擁護委員の選任同意



うさみ てつじ
宇佐美 哲司 氏
(費田)

任期
令和8年7月1日～
令和11年6月30日まで

総務建設常任委員会

3月10日、付託議案3件を審査した。また、建設環境課、まちづくり推進課より所管事項報告があった。主な質疑は下記の通り。

行政組織の改正に伴う関係条例の整備に関する条例制定
(議案第12号)

行政組織の改正に伴い課の名称を掲げる関係条例の整備を行う

行政組織の改正でどう変わるのか

企画財政課入札契約係の仕事は今後どの課のどの係が担うことになるのか。

今後は以前の形に戻り、企画財政課の財政管財係がその事務を担うことになる。

反対討論

入札契約係は残すべき
今西利行議員

職員による官製談合事件を機に設置された「入札契約係」は、二度と不正を起ささないという固い決意のもとに作られたもので、残すべきである。「まち未来創造課」は、仕事の内容が住民に分かりにくい。開発と環境は密接に関連があり、建設課の中に環境係を残すべきである。

賛成討論

挑戦する行政の姿勢を支持する
浅田賢茂議員

さまざまな課題があるなかで、若者世代に選ばれ、稼ぐまちとして未来を切り開くことが重要であり、100年後も残るまちとするには、攻めの組織が必要である。まち未来創造課は未来戦略を担う部署として期待する。

反対討論

何を狙っているのか不透明
堀口宏隆議員

以前に確認し、今議会の一般質問でも確認したが、明確な方向性が示されないため反対する。

宇治田原町消防団員等公務災害補償条例の一部改正(議案第15号)
非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い保障基礎額等の改定を行う

加算額廃止の理由は

配偶者の補償基礎額の加算額が廃止されるが理由は。一般的な社会の流れで配偶者に対する手当や加算は廃止される方向にあることからの廃止である。

宇治田原町火入れに関する条例の一部改正(議案第22号)
消防事務委託により適用される京田辺市火災予防条例の改正に伴う改正

山林火災の発生状況に踏まえての改正か

各地で発生している山林火災の状況等を踏まえて改正になるのか。

消防事務の委託により本町に適用される京田辺市火災予防条例の一部改正に伴う改正である。

〈報告事項〉

- 建設環境課
宇治田原町建築物耐震改修促進計画の改定
まちづくり推進課
新名神高速道路建設事業の進捗

文教厚生常任委員会

3月11日、付託議案7件を審査した。また、健康対策課、子育て支援課、学校教育課、社会教育課より所管事項報告があった。主な質疑は下記の通り。

宇治田原町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正(議案第20号)
設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う改正

健康診断を行わない理由は

家庭的保育事業を利用する乳幼児に対して実施が義務づけられている健康診断の全部又は一部に相当すると認められるときは、当該健康診断の全部又は一部を行わないことを可能とするがあるが、その理由は。

健康診断の内容が、町が乳幼児等に行っている乳幼児健診の内容と重なっている部分が多いため、そちらの情報が得られれば代用できるという規定になっているためである。

宇治田原町子ども・子育て会議設置条例の一部改正
(議案第21号)

町子ども・子育て会議の所掌事務を追加するための改正

虐待事案発生から報告までの流れは

虐待に関する事実確認を行った場合、子ども子育て会議へ報告することとされているが、事案が発生した場合の報告までの流れは。

虐待が発見された場合、保育所等や町は、国の示している「ガイドライン」に基づき適切な対応をとることになる。その確認事項を整理し、虐待有無の判断・指導等の方針を決定し、安全確保措置また、子どもに対する支援を実施する。その後、本町子ども子育て会議へ報告するという流れになる。

〈報告事項〉

- 健康対策課
健やかうじたわら21プラン(第2期健康増進計画)
中間見直し
子育て支援課
令和8年度宇治田原町立保育所入所申込み状況
学校教育課
令和8年度小中学校児童・生徒数、学級数の見込み
社会教育課
令和8年度放課後児童健全育成施設入所申請状況
宇治田原町生涯学習推進計画の改定等

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席・△除斥]

| 種別 | 議案番号 | 議案名と内容 | 賛成討論 | 反対討論 | 結果 | 谷口 | 光島 | 堀口 | 山本 | 今西 | 浅田賢 | 上野 | 山内 | 藤本 | 田中 |
|-----------|--------|--|---|------|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|
| 人事 | 議案第26号 | 人権擁護委員候補者の推薦について(宇佐美哲司氏の推薦) | | | 同意 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和7年度補正予算 | 議案第25号 | 一般会計補正予算(第4号)の専決処分(衆議院議員総選挙執行費の追加)【1,000万円の追加】 | | | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第1号 | 一般会計補正予算(第5号)(各種事業の決算見込みなど)【7,769万6千円の追加】 | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第2号 | 国民健康保険特別会計補正予算(事業勘定)(第2号)(保険給付費の決算見込みなど)【93万円の減額】 | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第3号 | 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(後期高齢者医療広域連合への納付金の増に伴う補正)【366万5千円の追加】 | | ✓ | 可決 | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第4号 | 介護保険特別会計補正予算(第3号)(保険給付費の決算見込みなど)【保険事業 2,324万5千円の追加】【介護サービス事業 123万4千円の追加】 | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第5号 | 一般会計予算【64億8,500万円 前年度比14.0%増】 | ✓ | ✓ | 可決 | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和8年度当初予算 | 議案第6号 | 国民健康保険特別会計(事業勘定)予算【9億8,049万5千円 前年度比2.4%減】 | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第7号 | 後期高齢者医療特別会計予算【1億9,574万9千円 前年度比5.5%増】 | | ✓ | 可決 | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第8号 | 介護保険特別会計予算【8億8,305万2千円 前年度比0.3%増】 | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第9号 | 水道事業会計予算【5億7,892万2千円 前年度比3.0%増】 | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第10号 | 下水道事業会計予算【9億6,923万6千円 前年度比4.9%増】 | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 条例改正 | 議案第11号 | 宇治田原町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例を制定するについて(法律の改正により乳児等のための支援給付の創設に伴い、乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例を制定) | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第12号 | | 行政組織の改正に伴う関係条例の整備に関する条例を制定するについて(まちの未来を切り拓く重要施策を一層強力に推進するため、組織体制の見直す関係条例の規定整備の条例を制定) | ✓ | ✓ | 可決 | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ● | ○ | ○ | ○ |
| 議案第13号 | | 宇治田原町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(人事院勧告に基づく国家公務員の給与制度改正に準じた関係条例の一部改正) | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第14号 | | 宇治田原町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(法律改正等に伴う条例の一部改正) | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

*原田議長は賛否同数以外は表決に加わりません

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席・△除斥]

| 種別 | 議案番号 | 議案名と内容 | 賛成討論 | 反対討論 | 結果 | 谷口 | 光島 | 堀口 | 山本 | 今西 | 浅田賢 | 上野 | 山内 | 藤本 | 田中 |
|------|--------|---|------|------|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|
| 条例改正 | 議案第15号 | 宇治田原町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を制定するについて(政令の改正に伴う補償基礎額等の改定) | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第16号 | 宇治田原町介護保険条例の一部を改正する条例を制定するについて(介護保険法施行令の改正に伴う条例の一部改正) | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第17号 | 宇治田原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を制定するについて(令和8年度の税率等を設定するための条例の一部改正) | | ✓ | 可決 | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第18号 | 宇治田原町立保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)を町立保育所で実施するための条例の一部改正) | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第19号 | 宇治田原町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて(特定教育・保育施設等の運営に関する基準の改正に伴う条例の一部改正) | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第20号 | 宇治田原町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて(家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴う条例の一部改正) | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第21号 | 宇治田原町子ども・子育て会議設置条例の一部を改正する条例を制定するについて(乳児等通園支援事業及び乳児等のための支援給付(こども誰でも通園制度)の開始等に伴う条例の一部改正) | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第22号 | 宇治田原町火入れに関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(火災に係る注意報の新設等に伴い、火入れの中止の要件に係る条例の一部改正) | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第23号 | 宇治田原町立学校施設使用条例の一部を改正する条例を制定するについて(維孝館中学校体育館の施設使用について、新たに冷暖房使用料金を徴収するための条例の一部改正) | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第24号 | 宇治田原町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて(法律改正に伴う条例の一部改正) | | | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

*原田議長は賛否同数以外は表決に加わりません

表決結果

表決結果

一般質問

3月5日

町政を問う

一般質問とは、議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。



議会公式 Youtubeチャンネル



| 質問者 | 質問事項 |
|--------------|------------------------------------|
| 1 藤本英樹 (P11) | 1. 宇治田原山手線整備事業 2. 産業振興対策 * |
| 2 光島善正 (P11) | 1. 竹の利用 |
| 3 堀口宏隆 (P12) | 1. 宇治田原町役場の組織体制 |
| 4 谷口茂弘 (P12) | 1. 国保税と後期高齢者医療保険料の住民負担 2. 旧庁舎跡地 |
| 5 今西利行 (P13) | 1. 小中施設一体型 * 2. 茶業界の実態 |

| 質問者 | 質問事項 |
|---------------|------------------------------------|
| 6 田中大典 (P13) | 1. ふるさと納税による寄付金の使途と未来への投資 |
| 7 山内実貴子 (P14) | 1. 子育て支援 2. 町公式 LINE を使った情報 |
| 8 上野雅央 (P14) | 1. 獣害対策 |
| 9 山本 精 (P15) | 1. 高齢者対策 2. 安心安全対策 |
| 10 浅田賢茂 (P15) | 1. 野生動物との適切な距離感 2. 林野火災時の消防活動 * |

*印の質問事項は本紙には掲載しておりません。詳しくは録画による動画配信をご覧ください。

傍聴のご案内

宇治田原町議会を傍聴しませんか。傍聴券は本会議・委員会当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp>)をご覧ください。議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。



議会の日程はこちらから

山手線整備に対する町長の決意は

全身全霊で取り組んでいく



ふじもとひでき 藤本英樹議員

町長 町の発展、未来への投資は道づくりが重要と今までも申し上げてきた。

勝谷町長も自らの発言を反省し、認識の甘さを認められた。

自民党宇治田原町支部も「早期全線開通は、自民党が主体となって取り組む。」と支部総会で決議をし、山手線住民会議一斉啓発を経て、地元府議会議員や住民会議役員の方々と共に知事へ要望を実施いただいた。

このような中、まちづくりに重要な山手線事業の今後の進め方についての考えを改めて問う。

町長

今、国民や本町住民が求めているものは、「未来への期待」ではないかと考えている。その「期待」に応えるために必要な道路が山手線であり、今後も最重要施策として取り組んでいく。

また、まちづくりのためにも重要な基盤整備であり、京都府のお力添えと、地権者のご理解を得ながら着実に進めていかなければならない。

今後も関係各位のご理解、ご協力を得るために全身全霊で取り組んでいく決意である。



山手線住民啓発会議の様子

町内の竹の利活用は

ワークショップへの支援を検討



みつしまよしまさ 光島善正議員

町内在住の竹職人さんが技術の伝承(後継者づくり)、地場産業の確立と町内での材料(真竹)の調達を目指しワークショップを始められた。将来の地場産品開発に繋がり、観光資源にもなり得るものである。これらのワークショップなどの取り組みへの支援は。

産業観光課長

これらのワークショップについては、町外からファンの方を呼び込み観光資源になり得るコンテンツであり、ワークショップ実施者への支援を前向きに検討する。まずはニーズ調査から

進めていく。

地場産業育成と観光事業に繋げる竹の管理と利活用の取り組みは。

産業観光課長

放置され荒れた竹林の整備などの課題は多くあるが、個人所有の竹林整備は個人の適正管理の範疇になるが、行政として課題感は共有しており、出来得る範囲でしっかりと対応する。確保した竹を使い観光資源に繋げることは意義ある取り組みであり、ワークショップの取り組みをはじめ、地域や関係人口を巻き込んだ事業等を検討する。



整備した真竹の竹やぶ

組織体制をどう考えているのか

人材の確保に努めているところ



ほりくちひろたか
堀口宏隆議員

問 現在の状況と今後の体制はどのようになるのか。

答 (町長) まち未来創造課を新設するなど、組織体制の見直しを行っていきたい。

問 適材適所の人員配置はもとより職員のモチベーションを向上させるなど人材の確保と育成が不可欠であるが、どのように考えているのか。退職者や退職者が複数を数え過去5年間で多くの職員が退職したと聞いているが、どう受け止めているのか。退職者には採用から年限の浅い方もいるようだが、

一方でこれからの町役場を担う中堅の方もいるようだ。町役場の職場環境が耐えられないのか、業務にかかる指導がまずいのか、いわゆるハラスメントなど人間関係の問題なのか、きちんとした分析はしているのか。退職者や退職者が多いと戦力ダウンし業務遂行に大きく影響すると思うが、新たな組織体制を整備する中でこうした人材の問題をどのように考えているのか。

答 (町長) 適正な職員数及び有為な人材の確保に努めているところである。



宇治田原町役場

国保税・後期高齢者医療負担減を

健康寿命を延ばす取組等に対応



たにくちしげひろ
谷口茂弘議員

問 国民健康保険税の増額改定の答申を受けて、基金を取崩して税率上昇を抑え、誰もが安心して医療を受けることができる町の独自政策をやめるのか。

答 (健康対策課長) 負担軽減を念頭に今後3カ年度をかけて府の標準保険料率に合わせる方針である。

問 物価高騰に加え、後期高齢者医療保険料も知らない間に上がり生活が苦しいと切実な声を聞くが、町の対応は。

答 (健康福祉理事) 子ども・子育て支援金分が新たに増

加するが、全住民向け各種保健事業や高齢者の保健づくり・フレイル予防の取り組みにより、住民の健康寿命を延ばすと同時に、健全な財政運営と医療費・社会保険料を適正化していく。

旧役場庁舎跡地の売却手続きの状況は
問 更地のまま放置の旧庁舎跡地に医療法人徳洲会から介護医療院としての買受提案があったが、その後の状況は。

答 (企画財政課長) 土地活用目的や売却予定価格に変更もなく、意思疎通を図りながら、引き続き事務手続きを進めていく。



集団健康教室「輝齢者しゃんしゃん教室」



更地のままの旧役場庁舎跡地

茶業界の実態把握と対策を

実態把握に努め、対応をはかる



いましとしゆき
今西利行議員

問 近年、インバウンドや海外での異常な抹茶ブームで、煎茶やほうじ茶、番茶の材料にする茶葉が品薄となり、価格が高騰している。町内の茶問屋や茶小売店では、「来年売る茶がない」という話を聞いている。「緑茶発祥の町」「お茶のまち」として、茶業界の危機的状況についての認識は。

答 (産業観光課長) 近年の茶高騰は、世界的な抹茶・日本茶需要の急拡大や、茶農家の高齢化による収量の減少、資材、物流・エネルギー価格の高騰などが重なったも

の。特に、抹茶原料の碾茶価格の異常な上昇は、問屋、小売店を直撃している。町商工会と連携し、実態把握・情報共有に努める。

問 町担当課が直接茶業者の話を聞き、町ができる対策をとるとともに、府や国に対し要望をしっかりと挙げよ。

答 (産業観光課長) 実態把握から支援策の提案まで、商工会と連携することで最も効果的に対応できる。国・府へ要望するとともに、「お茶のまち」として、できる限りの対応をしていく。



危機的状況の茶業界

寄付金の使途と未来への投資は

子どもたちのために一本化する



たなかひろのり
田中大典議員

問 子どもたちのために全額使用する方針は堅持するのか。

答 (町長) 使途を子どもたちのために一本化するのには、納税者が応援したい自治体から自ら選び、地域を支える仕組みとして理念に沿うものとする。引き続き取り組みの根幹に据え、寄付者の応援と共感を得られるように努めたい。

問 公債費の償還が本格化する中、このような変動性のある財源について町としてどのように向き合うか。

答 (町長) 財政状況はふるさと納税の収入なしでは非常に厳しい。ふるさと納税制度が存続する限り、自治体経営上の「稼ぐ」取り組みの一つとして向き合う。

問 子どもたちの可能性をより豊かに広げるために、町としてどう考えるか。

答 (町長) 夢を応援するミラチャレ事業は、学びと経験を通じ、自己実現を後押ししたいと展開してきた。「この町に育つてよかった」と感じてもらえるよう、切れ目なく続ける必要があると考える。



「未来挑戦隊チャレンジャー」事業とその他の取り組み

パパの子育て応援へ環境整備は

環境整備へ取り組んでいく



やまうち み き こ
山内実貴子議員

問 子育てを夫婦とともに、と頑張っているパパたちは確実に増えている。各地で、パパの子育てを応援するさまざまな取り組みが行われているが、たとえば、未整備の多目的トイレへおむつ交換台の設置を行うなど環境整備は。

答 (子育て支援課長) 父親が利用できるおむつ交換台を整備するなど、より積極的に子育てに参加しやすい環境となるよう取り組んでいく必要があると考える。また、父親が育児に自信を持ち、積極的に関与できるようサポートもしていきたい。

町公式 LINE 普及へ更なる取り組みは
問 昨年導入された町公式 LINE は、新着情報が通知されるという利便性があり、便利な情報源である。普及のために更なる取り組みが必要では。

答 (総務理事) 防災情報などの緊急情報をはじめ、観光・イベント情報、町政に関する様々な行政情報を町公式 LINE にて配信している。今後、役場庁舎や文化センターなどの目につきやすい場所に二次元コードを掲示するなど、登録者数の更なる増加をめざし、取り組んでいく。



多目的トイレに設置のおむつ交換台



町公式 LINE 二次元コード

加齢性難聴へ補聴器購入費補助は

財政を見極め検討



やまもと ただし
山本 精議員

問 難聴は日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難とするなど生活の質を落とす大きな原因となるばかりか、認知症の危険因子になることも指摘されている。聞こえの悪さを補完し、会話や音を聴き取れるようにするのが補聴器である。2025年5月現在全国自治体の464自治体が補聴器購入補助を実施している。近隣の自治体でも京田辺市や、精華町で実施している。本町でも実施に踏み切っては。

答 (健康福祉理事) 全国的に見て、独自に助成している

自治体や、精華町や京田辺市で実施していることは把握している。国や府からの補助がない中での購入費補助交付の実施は、町の財政負担を十分見極める必要がある。引き続き検討する。

小学校体育館への空調設備設置は
問 文部科学省の通達によると避難所になる学校体育館等へは有利な財源の補助が受けられる。本町の小学校体育館への空調設備設置を進めては。

答 (教育次長) 財源面と町の費用負担面も踏まえ、引き続き検討する。



購入費補助が待たれる補聴器

町の有害鳥獣対策は

地域と連携し整備を進める



うえの まさお
上野雅央議員

問 町内の檻の設置状況と、今後増設する考えは。また新設時の管理方法やノウハウは。

答 (産業観光課長) 町内には捕獲檻を23基(地元区16町7)設置。被害状況や農業者の要望を踏まえ、新規購入や不要となった檻の移設などで柔軟に対応している。檻の運用については、猟友会や農業委員会、府などで構成する町有害鳥獣対策協議会で協議している。新設時は管理者に餌の種類や方法を説明し、設置後も必要に応じて助言を行い、仕

掛けは狩猟免許を持つ町職員が行っている。

問 クマの出没に備えた「緊急銃猟」について、猟友会や警察、府との連携体制の構築や町のマニュアル作成は。

答 (産業観光課長) 府の参考例をもとに、木津川市で実施された模擬訓練の検証結果や関係者との意見交換を踏まえ、本町の「緊急銃猟マニュアル」を現在作成中。猟友会や警察、府との連携や安全確保の手順、出没時の対応体制などを整理しており、年度内の完成を見込んでいる。



町内の捕獲檻

獣害の安全対策と学校教育は

安全・環境教育の両立をする



あさだ たかしげ
浅田賢茂議員

問 獣害の把握と現状の認識は。

答 (産業観光課長) 被害者からの報告・J A・農業共済組合・サルパトなどから聞き取りを行い、モンキードックによる追い払い、猟友会との各種施策を実施している。

問 教育機関の対応と安全指導は。

答 (教育次長) 産業観光課と連携し、通学路の警戒を強化している。保護者にはプリントやアプリで情報を共有し、各校には危機管理マニュアルを点検するよう指示し、保育所でも、放送による屋内避難

など普段の防犯訓練の実施を徹底するよう職員間で確認をしている。熊出没に際しては、迅速な情報共有のため、関係各所との緊急連絡網を整備した。

問 野生動物の出没を鑑み、自然を教材に里山管理の体験学習は出来ないか。

答 (教育長) 今後は、野生動物の生態や出没の背景を学ぶ視点を加えたい。安全教育と環境教育を両立させ、子どもたちが野生動物との適切な距離感を理解し、本町の地域価値を再発見し、シビックプライドを育める学習活動を進めたい。



管理された里山を次の世代へ

中学生議会アンケート結果

令和7年12月19日に開催した中学生議会のアンケート結果～中学生議会に参加した感想（自由記述）より～
※「掲載しても良い」との承諾を得たものを基本的に原文のまま掲載しています。

普段体験できないことを体験できて、とても感動した。また、議場に入る前のおじぎ等、議会を行う前に大切なことをやる姿勢にとっても尊敬した。良い町にするために議会を開いて色々な意見を出して、この町を活性化してくれていることに改めて感謝します。

議会に参加することは本当にいい経験になったと思います。町を変えるためにはどうすれば良いのか知ることができました。どういう流れで決まってくるのかも知らなかったのが、緊張しましたが、やってみると楽しかったです。またやってみたいと思いました。

議会を体験できるなんてとても良い機会だったと思うので良かった。議員を体験していた人は見ても面白かったし、理解も深まった。議場は災害が起きた場合、避難所だということがわかってよかった。答弁の内容で今の宇治田原町がどういう状態か知ることができたので面白かった。

役場に入ったことはあったが、3階に議場があったのはびっくりしました。議会中でもしっかりと丁寧に話をしている、名前のおとに「議員」といってめちゃくちゃ本格的ですごかったです。今回の体験において、宇治田原がお店や食べる場所、観光地を増やして楽しくなったらすごいと思うのでやる意味があったと思いました。あと中学生の質問についてもしっかりと答えていたからめちゃくちゃ良かったです。自分のもわかりやすかったのが、うれしかったです。ありがとうございました。とても大切な場所だとわかりました。

町議会議員をめざすかは分からないけれど、今日、議会に参加させてもらい自分の住む町をこの方々に任せたいと思える議員さん達ばかりで、こういう頼られる人間になりたいと思った。代表として動く人は、責任感を背負いかつ自信を持って行動することが大切だと議員さんの発言や議会中の様子から実感しました。物事の方針を決める議会はこの町に住んでいる人全員に関係することなので、「選挙に参加できないから」、「難しい話し合いは関わりたくない」と無関心になっていくのではなく、一人一人が興味を持ち、意見を交わし合う事が今後よりよい町にしていくための一歩だ

と思いました。

学年で24人しか座れない議員席に座ってボタンを押すことができてよかった。やってよかったと思った。自分たちが直してほしいことは簡単に直すことができると思っていたけどそうではなかった。宇治田原の現状を知ることができてよかった。

とても広くて、すごかった。座席が上になるほど偉い人だと思ったけど、下が町長だと分かって驚いた。死角で見えない場所もカメラがあることによって見えやすくてとても便利だと思った。議会に参加することはめったに無いので、とても良い経験が出来たと思いました。

議会に参加するのは初めてだったので、とても楽しかったです。議員席に座らせてもらったのですが、ボタンを押す時とても緊張しました。質問に対してすらすらとお答えになる姿がとてもかっこ良かったです。議会に参加する前は、「何でもっとバスの本数を増やしてくれないのだろう」と思っていたけど、今回の話を聞いて、様々な理由があって本数を増やせないということがわかりました。とても貴重な経験になりました、ありがとうございました。



面白かったです。町議会に参加するというのは一生に一回のことかもしれないので、とても貴重な体験だと思いました。本当の議会になった時、厳しいことと言われて心が折れそうになるのかなと思いました。

普通できないことを維中だからできたのは良かったと思います。貴重な経験ができて良かった。

議員席に座れることなんてこの先一生ないと思うので、貴重な体験ができて楽しかったです。私は質問をしなかったですが、あの席に座るだけで少し緊張しました。町議会議員という仕事は大変そうだというイメージがありましたが、今日さらにそのイメージが強くなりました。町のためにやってくれている町議会議員の皆さまは本当にすごいなと思いました。今日はありがとうございました。

議会で話し合うことによって、町の未来を変えることができるので、議員の魅力を今日改めて感じることができました。仮であるけれども賛成、反対を決める時に自分の一票で町の将来を変える重みがあるということを感じられたのでいい経験になりました。この経験を将来に活かしていきたいです。

初めて中学生議会に参加したけど、議会の中は空気が「がらり」と変わり新鮮だった。議会の人々が全て仕切ってすごいなと思った。立派だなと思いました。議長！と言ってから発言すると初めて知ってびっくりしてすごいなと思いました。とても貴重ないい経験ができてよかったと感謝です。

どのような質問をしても納得のいく返事が聞けてよかったです。給食の委託については、人が足りないという理由である事とともに、食材以外の給食費を町が負担しているという知らないことを知れて良かったです。貴重な経験ができ、また、バスなど不満に思っていたことが無くなって良かったです。

議会っていうものが具体的にどんなふうに行われているかを知れてよかった。議員の人たちがどんな仕事をしているのか知らなかったから「こんなふうな仕事なんだな。」と思った。町民がもっともっと暮らしやすくなるために私たちが意見を言うことはとても大切だと感じた。

バスがあまり通らない理由も分かったし、今後のために何かを決める場所で僕たちが行けるような場所ではないため、良い経験になった。ハートフルタウンについては、僕的には誇張しているように思えるので、僕は反対です。

社会の授業で二代表制について習っていました

が、あまりイメージがわいていませんでした。でも今日の中学生議会で原田議長に説明してもらって、二元代表制がどのような仕組みなのかイメージがわかりました。生徒からの質問などの答えもわかりやすく、詳しく答えてくださって、すごく良かったです。

貴重な体験が出来て光栄です。議会が終わった後も丁寧に議員さんが分かりやすく教えてくれてとても心地良かったです。電子化されていてとても良いと考えました。でも奥の方で賛成、反対とかの管理をしている人がいたことに気が付きました。また、発言者のマイクの色が緑色に光るのを見て面白かったです。



前に立ち質問することがなかったので、今回の中学生議会は新しい感覚で面白く感じました。私は、バスなどは多くすればいいという考えだけでしたが、それでは赤字になり運営が難しくなるということを知りました。宇治田原町の今のことと先のことを考えた案や質問ができるようにもっと町を知ってみようと思いました。

僕は議員席にいたのですが、とてもわかりやすかったと思いました。僕は昔に職業体験の時に見たよりも議場等は大きいと思いました。色々なところにお金をかけているところがよくわかりました。とても緊張してしまっているところもかんでしまいました。



総務建設常任委員会

1月22日、各課の第4四半期の事業執行状況と報告事項3件があった。主な質疑は下記の通り。

〈事業執行状況〉

総務課

日本語教室の現状は

問 日本語教室の習得状況やレベルは。

答 現在学習者は19名で片言ぐらいの日本語は話せる程度。

企画財政課

ふるさと納税の現況は

問 昨年度に比べ寄附額が下回りそうだが、今後どのように伸ばしていくのか。

答 返礼品の開発と寄付単価を上げる作業、ECマーケティングのところのブラッシュアップを考えている。

まちづくり推進課

沖縄南城市との交流は

問 南城市の前市長が辞職したが現市長と交流できるのか。

答 市長が変わっても、今後情報交換、意見交換を通じてできることから交流を進めていく。

産業観光課

野猿対策は

問 新たなモンキードッグは。

答 湯屋谷で2頭の訓練を実施している。12回をワンクールとして、現在2クール目である。

問 野猿の動きは。

答 昨年末から湯屋谷地域に定着。防御カバーの紹介等によりドアミラー被害についても減少。

上下水道課

流域下水道建設負担金の負担割合は

問 流域下水道建設負担金は何に対する負担か、何パーセント負担するのか。

答 管渠の部分についての負担で、本町の負担は幹線管渠の部分には3.03%、処理場には2.06%負担をする。

〈報告事項〉

企画財政課

・入札監視等委員会（令和7年度第2回）開催概要

まちづくり推進課

・第15回宇治田原町地域公共交通活性化協議会の開催結果

・令和7年度第3回宇治田原町都市計画審議会の開催結果

文教厚生常任委員会

1月23日、各課の第4四半期の事業執行状況と報告事項3件があった。主な質疑は下記の通り。

〈事業執行状況〉

健康対策課

健康増進計画等のパブリックコメントは

問 パブリックコメントは何件あり、どんなコメントだったか。

答 1名の方からあり、1件は予防接種事業についての住民サービスの向上。もう1件はがん検診等の受診率向上に向けた取り組みについてコメントがあった。

子育て支援課

検診の受診率は

問 各種検診、歯科検診はほぼ100パーセントの方が来られるか。

答 忘れたなどで来られない方もあるが、次回検診を案内するなど対応している。

学校教育課

共同調理場で働く現職員は

問 共同調理場は、委託に伴い現職員をなるべく採用するとのことだが、何人継続して働いてもらえるか。

答 基本的に雇用継続を希望される方は、すべて受け入れる方向で考えている。

社会教育課

子ども茶道教室参加者は

問 子ども茶道教室は何人くらい参加か。

答 現在10名が参加している。定員は15名である。



子ども茶道教室

〈報告事項〉

福祉課

・宇治田原町権利擁護・成年後見センターの開設

学校教育課

・学校給食費の改定

・宇治田原町立学校施設使用条例の一部改正

インタビュー

学校給食共同調理場のみなさん

学校給食共同調理場のみなさんに3月23日にインタビューしました。



Q. 献立で工夫されてきたことは

A. 作業工程と価格を重視しつつ、季節を感じながら楽しんで食べてもらえる献立をつくってきました。

Q. 調理での工夫や気を付けてきたことは

A. 野菜や肉の旨味を生かした調理をすることを心掛けてきました。それで調味料の使用も減らすことができ減塩にもつながります。

Q. 苦労したこと、大変だったことは

A. とにかく人員不足で毎日給食が時間に間に合うように出せるかわからないような状況でした。マンパワーが必要な仕事なので身体も心も全員がかなりしんどかったです。

Q. 楽しかったこと、うれしかったことは

A. 楽しかったことは、コロナ前までは子どもたちと一緒に給食を食べる機会があったことです。うれしかったことは、給食甲子園準優勝はもちろんですが、自分たちが作った給食がおいしいと言ってもらえたことです。

Q. 直営最後の給食をつくり終えての心境は

A. さみしいと思う気持ちよりも、とにかく無事に終わってホッとしたという気持ちの方が強かったです。自分たちの代で直営が終わってしまうのは非常に残念ではありますが、無事に委託業者にバトンを渡せることはよかったですと思います。

Q. その他つたえたいことがあれば

A. これからも宇治田原町の学校給食を温かい目で見守っていただけたら幸いです。



最後の直営での給食調理



今日から一年生



桜の下で



遍照院 春栄祭



藤井譲次様より永谷宗円生家の模型、奥田茂様より展示台をご寄贈いただきました。誠にありがとうございます。模型は議会事務局前に展示しております。

編集後記

春は別れと出会いの季節。中学校卒業式にて「生成AIでもできる世にあって、人間らしさとは」との答辞に大変胸を打たれる思いでした。心が通う人間だからこそできること。そんな思いをもって進んでくれる若者の存在が非常に心強く、また頼もしく、この町の未来を明るく感じる事ができた一日でした。

広報編集委員 田中

次回議会の予定
〈6月定例会〉
6月5日金開会日
詳しい予定はHPにて
お知らせします。